【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成19年10月25日(2007.10.25)

【公開番号】特開2006-87612(P2006-87612A)
【公開日】平成18年4月6日(2006.4.6)
【年通号数】公開・登録公報2006-014
【出願番号】特願2004-275773(P2004-275773)
【国際特許分類】
Ａ６３Ｆ　7/02　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６３Ｆ　7/02　３２６Ｄ

【手続補正書】
【提出日】平成19年9月7日(2007.9.7)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
各種遊技部品が設けられた遊技機本体と、該遊技機本体の前面側を覆うように開閉可能に配置された前面扉と、弾球が飛翔する遊技領域を前方から視認できるように前記前面扉に形成された窓部に配置された透明板組立体と、を備え、
該透明板組立体は、複数枚の透明板と、それら各透明板の外周部を固定する枠体と、前記枠体と前記各透明板とによって囲まれた密閉空間の水分を吸着する吸湿体と、を備えた遊技機において、
前記枠体を一体成形にて形成すると共に、該枠体及び前記各透明板を、少なくとも一部が前記窓部より外方に拡張された拡張部分を有する形状とし、
前記枠体の内周端より内周側の前記各透明板に挟まれた位置であって前記密閉空間内の前記拡張部分に前記吸湿体を配置することにより、前記前面扉を前記遊技機本体より開放したときに前記透明板を通じて前記吸湿体が視認可能となるよう構成し、
前記各透明板のうち前記遊技領域側に配置される遊技領域側透明板を合わせガラス構造としたことを特徴とする遊技機。
【請求項２】
各種遊技部品が設けられた遊技機本体と、該遊技機本体の前面側を覆うように開閉可能に配置された前面扉と、弾球が飛翔する遊技領域を前方から視認できるように前記前面扉に形成された窓部に配置された透明板組立体と、を備え、
該透明板組立体は、複数枚の透明板と、それら各透明板の外周部を固定する枠体と、前記枠体と前記各透明板とによって囲まれた密閉空間の水分を吸着する吸湿体と、を備えた遊技機において、
前記枠体を一体成形にて形成すると共に、該枠体及び前記各透明板を、少なくとも一部が前記窓部より外方に拡張された拡張部分を有する形状とし、
前記枠体の内周端より内周側の前記各透明板に挟まれた位置であって前記密閉空間内の前記拡張部分に前記吸湿体を配置することにより、前記前面扉を前記遊技機本体より開放したときに前記透明板を通じて前記吸湿体が視認可能となるよう構成し、
前記各透明板のうち前記遊技領域側に配置される遊技領域側透明板を合わせガラス構造とすると共に、前記枠体の外周側には前記前面扉へ取り付けるための取付部を複数設け、各取付部を非対称な関係となるように配置したことを特徴とする遊技機。